

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成19年10月2日

【評価実施概要】

事業所番号	2773001504
法人名	社会福祉法人 ともしび福祉会
事業所名	飛鳥ともしび苑
所在地	大阪市東淀川区東中島3丁目16番20号 (電話)06-6990-5002
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 19年 9月 7日

【情報提供票より】(平成 19年 6月 30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 12月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤	11人, 非常勤 4人, 常勤換算14.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての	1階 ~	1階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) ②			
保証金の有無 (入居一時金含む)	① (150,000円)	有りの場合 償却の有無	③ / 無	
食材料費	朝食	300円	昼食	400円
	夕食	500円	おやつ	100円
	または1日当たり 1,300円			

(4) 利用者の概要 (平成 19年 6月 30日現在)

利用者人数	17名	男性	3名	女性	14名
要介護1	4名	要介護2	7名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 80.4歳	最低	70歳	最高	99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	淀川キリスト教病院、さきはら歯科医院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長年地域に密着した社会福祉法人が運営するグループホームで、真向かいには母体法人の運営する健康管理センター、デイサービス、老人福祉センターがあり連携を図っています。理念として「私の話を聴いて欲しい。私にして欲しいことを訊いて欲しい。私自身を、もっと理解して欲しい。これは出来ない決め付けないで欲しい。私を‘今’という時を生きさせて欲しい。右の言葉を基本理念として、いのち輝く健やかな暮らしなれと、共に歩んで行きたい。」を理念に掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らせるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、言葉かけや態度は明るくやさしい雰囲気です。看護師資格のある職員が協力病院と連携してサポートすることが利用者と家族に安心感を与えています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価で示された課題についての改善が進んでいます。廊下や風呂場の脱衣場の手すりの取り付け改修が進み、チームケア会議が機能し、日中の玄関の鍵が開錠され、職員の研修が充実してきました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、管理者が中心になって案を作り、全職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は地域包括支援センター、区社会福祉協議会、民生委員、ネットワーク推進委員、同一法人の健康管理センター施設長、自治会長、老人会長の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議では運営状況や利用者の生活ぶり、外部評価の結果の説明、今後の課題について報告し、地域との相互交流について話し合っています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	少なくとも月に1回は訪問する家族との面会時に利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、行事についても写真とともに報告しています。利用者の健康や安全に関わる事項についてその都度電話で家族へ報告をしています。年に2回たよりも発行し、行事や生活状況について写真とともに報告しています。家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、ご意見箱もおいて家族の意見を表せる機会を設けています。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目⑥	利用者は母体法人が運営する保育園の園児と交流をしたり、母体法人が運営する老人福祉センターでのお茶会をする等して地域の人と交流しています。地域の夏祭りや盆踊りにも参加しています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「私の話を聴いて欲しい。私にして欲しいことを訊いて欲しい。私自身を、もっと理解して欲しい。これは出来ない決め付けないで欲しい。私を‘今’という時を生きさせて欲しい。右の言葉を基本理念として、いのち輝く健やかな暮らしなれと、共に歩んで行きたい。」を理念に掲げ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、社会的な関係を保ちながらその人らしく暮らせるよう支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化してホーム内に掲示されています。採用時研修や月例のミーティングで、管理者とリーダー、職員は理念を共有し、介護に迷いがあるときには理念の概念に立ち戻るよう話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	利用者は母体法人が運営する保育園の園児と交流をしたり、母体法人が運営する老人福祉センターでのお茶会やふれあい喫茶、老人カラオケクラブに参加したり、機能訓練設備を利用したりして地域の人と交流しています。地域の夏祭りや盆踊りにも参加しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された課題についての改善が進んでいます。廊下や風呂場の脱衣場の手すりの取り付け改修が進み、チームケア会議が機能し、日中の玄関の鍵が開錠され、職員の研修が充実してきました。自己評価は、管理者が中心になって案を作り、全職員の意見も聞きながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組もうとしています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター、区社会福祉協議会、民生委員、ネットワーク推進委員、同一法人の健康管理センター施設長、自治会長、老人会長の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議では運営状況や生活ぶり、外部評価の結果の説明、今後の課題について報告し、地域との相互交流について話し合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者と行政や地域包括支援センターの担当者との意見交換や相談の機会は多くサービスの質の向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	少なくとも月に1回は訪問する家族の面会時に、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、行事についても写真とともに報告しています。利用者の健康や安全に関わる事項についてその都度電話で家族へ報告をしています。年に2回たよりも発行し、行事や生活状況について写真とともに報告しています。預かり金については出納帳を作成し、収支と残金について定期的に家族の確認を得ています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応するとともに、ご意見箱もにおいて家族の意見を表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職はほとんどなく、利用者は馴染みの管理者や職員による支援を受けています。またこの1年に職員の増員を行いました。元グループホームの職員など経験者を確保できているため、利用者への影響は最小限に抑えられています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	母体法人が経営コンサルタントの協力を得て全職員を対象に年間研修計画を立案し、一般職員研修、役職者研修、法人研修の形で実施しています。認知症などの専門研修についても職員の希望に応え、外部研修への参加とともに月1回のケア会議で伝達研修を行っています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪府老人福祉連盟のグループホーム分科会へ入会し、大阪市小規模ケア研究会にも参加して相互の交流や意見交換を実施し、サービスの質を向上させていく取り組みをしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前の家庭訪問やホームの見学、お試し利用を通じて馴染みの関係を作り、家族や本人の不安を取り除き安心して入居しサービスを受けられるようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	利用者が孤立することなく安心して日々の生活を送れるよう、家事を中心にそれぞれが得意なことや仕事を持ち、ホーム内で役割を持って生き活きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿い、生き活きと生活を楽しめるように利用者の生活を支援しています。仏壇にご飯を供える、お経を唱える、記憶したお経を写経する等を日課にしている利用者がいます。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや、心身の状況からアセスメントを行い、医師や看護師の意見、利用者や家族の意向・願いを反映した介護計画を作成しています。家族の同意も得ています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には3ヶ月毎に、状態の変化がある時はその都度見直しをしています。利用者毎のアセスメントの結果を集約し、援助内容も書き込んだ個別シートを職員に配布して確実な実行を求めています。モニタリング結果に家族と職員の意見も入れた評価とサービス担当者会議を毎月行い、3ヶ月毎の介護計画の見直しにつなげています。この1年をかけて独自の様式と方法の確立をした努力は顕著です。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者が併設の生活支援ハウスのベランダでの合同の食事会への参加や、露天風呂にも入浴できるよう職員は支援しています。また家族の都合により、かかりつけ医の通院介助も行っています。看護師を職員として配置し、往診医にも対応しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望で以前からのかかりつけ医師(医療機関)に引き続き医療を受けている利用者もいます。協力病院と連携し、夜間や急変時の対応についての体制整備も整っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在、ホーム内には看取りや終末期の対象となる利用者はなく、ホームの準備状況では看取りの実施は困難ですが、将来の検討課題としています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。利用者には笑顔が見られ落ち着いた様子で過ごしています。個人情報の取り扱いについても職員に書面で周知徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと好きなことをしながら暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。ある利用者のゆったりとした食事のペースを職員だけでなく、他の利用者もあたたかく見守って応援している光景が印象的でした。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者の希望を聞きながら作った献立表に添い、毎日の買物、下ごしらえ、調理、後片付けに至る一連の流れを利用者も参加しながら楽しんでいます。利用者の好みによりユニット毎で別メニューになっています。職員は利用者と同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は週2回ゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば週3回の入浴もできますが、一部の利用者に限られています。職員は毎朝利用者の清拭を行っています。	○	利用者は週に3回は入浴ができるよう、また希望すれば毎日でも入浴できるように支援することが求められます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	多くの利用者は一日の生活の中で家事に役割を見つけ、張り合いのある生活を送っています。昔料理屋さんの仲居だった利用者は食事の配膳や後片付けで経験を活かし、てきぱきと動いています。毎日居室でお経を唱えたり、記憶しているお経をすらすらと書きだしたりすることを楽しみにしている利用者もいます。地元出身の利用者は友人が尋ねてくると連れ立って喫茶店に出かけています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	周辺の神社・お寺への散歩や買物、真向かいのふれあいコミュニティへの訪問の支援をしています。地域の祭りや季節毎の花見に出かけ、特に地元にある有名な桜の名所に出かけるのが楽しみになっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	前回の外部評価の結果を受けて、日中の時間帯は玄関ドアにチャイムや鈴をつけ、内部からはテンキーを押せば開く構造に変更されており、職員の見守りで利用者は自由に外出ができるようになっています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策のマニュアルが作成され、年2回消防署の指導で消防避難訓練を実施しています。食料と水の備蓄については冷蔵庫や冷凍庫、収納庫に在庫があり、最低限の量は確保しています。非常・災害時のための食料品と水の備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成しておくことが望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量を把握し記録をとっています。水分摂取量は目標を決めて摂取しています。栄養バランスについては母体法人の他施設の栄養士からアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	二つのユニットにそれぞれ独立して格子戸の玄関入口があります。玄関周りには季節の花、観葉植物、装飾品が飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。リビング兼ダイニングルームには調理カウンターの前に利用者も参加して食事の準備をする作業台があり、広くゆったりとしています。掘りこたつをついた和室のほか、ソファや椅子が置かれ、玄関や風呂場の前にも椅子があって居場所が確保されています。全体として生活感のある落ち着いた雰囲気になっています。オゾン発生装置も設置し、脱臭、殺菌効果を得ています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には整理タンス、収納ケース、書斎机、椅子、ロッキングチェア、飾り棚、仏壇、花、装飾品、家族の写真、テレビ、ラジオ、家族と連絡を取る携帯電話など使い慣れた馴染みの古い物や生活用品を持ち込み、利用者が安心して過ごせる場所となっています。		